

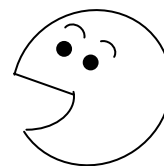
本部だよ！ ～号外～

特集 中原小学校PTA改革の歩み Vol.1 改革前

みなさんは、中原小学校のPTAのことをどの位知っていますか？
1回目は、改革前のPTAのことをお話ししたいと思います。

中原小PTAの特長であるボランティア制は、今の5年生が入学した年度から始まったので、改革前というと…少し前のこととなります。世の中では学校週5日制が始まりました。

ボランティア制になったのは最近のことなのね！
その頃は、どんな体制だったのかしら？



PTAは、本部・学級代表と校外生活・広報・文化厚生の専門部で構成されていました。



もしかして…今よりも大変だったの？

当時は、学級代表・広報・文化厚生に各クラスから4名も選出していました。

ない手はいたのかしら…



子ども一人に対して一回役員をしなくては行けない決まりがあり、カードに各自役員経験が記録されていました。⇒**カード制**



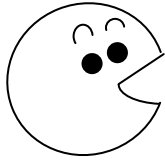
強制されているみたいで、怖いわね。

「いつかはやらないといけないからやる」という雰囲気が強くて、当時も役員を決めるのは大変なことだったようです。

本当なら、気持ちよく「やります」って言いた
いんだけど、自分出来るかどうか不安だし…



各専門部の活動も、仕方ないからやる…という人も少なくありませんでした。
人数が多かったせいか、部会に出てこない人もいたそうです。



それはちょっとひどいわね…
でも、そんな状況で活動できたの？

反面、意欲的に活動したいという人もいて、逆に1年では何も出来ないという声もありました。

そうね～興味のあることだったら、どんどん
アイデアも出てくるだろうし…やる気
のある人もいるのよね！



学校が募集するお手伝いには、常にたくさんの応募がありました。
当時も**学校に対する関心**は高かったようです。



分かるわ！子供のことは気になるし、
参観ではなく普段の様子を知りたいもの♪

当時の中原小学校の父兄の意識としては「**学校に対してとても関心があるけれども、PTA活動は負担に思う**」という感じだったようです。

ちょっと耳が痛いけど、そうなのよね…



いかがでしたか？自分が出来る時に参加できるボランティア制は、素晴らしいと思いませんか？では、**どんなことがきっかけで**、ボランティア制を取り入れるようになったかを、**Vol.2「問題点があがる」**で、お話しします。